

中宮祠に待望の

コミュニティセンター完成

昨年八月から、総工費一億百二十八万円をかけて工事を進めていた「中宮祠公民館兼日光コミュニティセンター」が完成し、四月二十日に関係者約百人が出席して落成式が行われました。

この公民館兼コミュニティセンターは、鉄筋コンクリート造二階建（一部平家建）七百八十八平方メートルで、一階に中宮祠出張所、日光完成したコミュニティセンター

消防署中宮祠分署のほか談話、図書コーナー、一般実習室、二階には八畳の和室二間、調理実習室、会議室があり、地区の懇談会や各種研修、実習など多方面に活用できます。

中宮祠 湯元地区は、昭和五十五年八月に、モデルコミュニティ地区として県の指定を受けています。そして、自治会、交通安全協会、温泉観光協議会など十六の団

体の代表者で「奥日光コミュニティ推進協議会」を結成し、積極的にコミュニティ活動を展開しています。

このようになると、コミュニティ活動の「場」となる公民館兼コミュニティセンターが完成したことは、中宮祠 湯元地区の住民にとつて、待望の施設の完成であり、今後の活動に大いに役立つものと期待されています。

中宮祠自治会と自治 総合センターから寄付

中宮祠自治会（神崎茂会長）は、中宮祠公民館兼日光コミュニティセンターの施設整備費に三百万円とカラーテレビ、演台、応接セット、コートハンガーなどの備品七十万円相当を寄付しました。

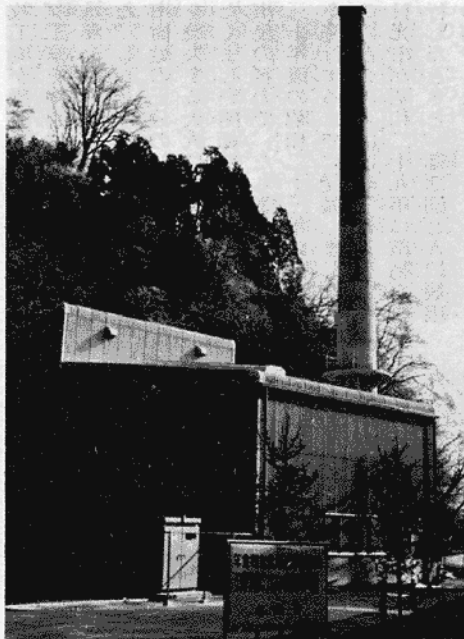
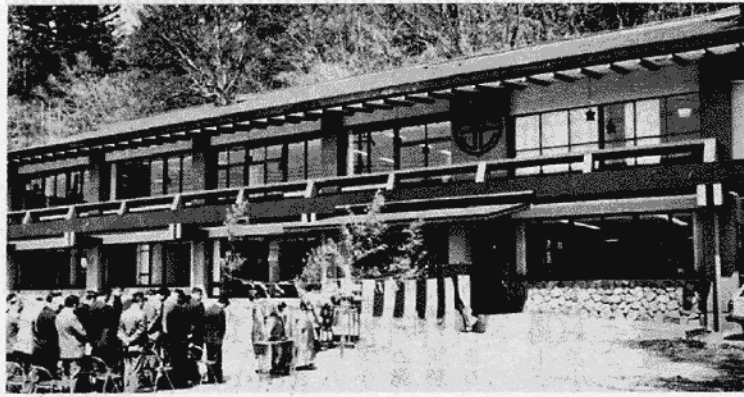
また、財団法人自治総合センター（柴田護理事長）でも、十六リ映写機、ステレオ、調理実習台など百八十万円相当の備品の寄付がありました。これは、自治宝くじ売上金から助成を受けたものです。

清滝ゴミ焼却場試運転開始

— 処理方法に新方式を採用 —

昨年十月から工事が進められていた、清滝ごみ焼却場がこの程完

成し、現在試運転が開始され、近く本稼動されることになりました。



試運転が開始された焼却場

完成した焼却場は、一日八時間稼動で十五トン処理できるもので炉体構造も、投入口が油圧式で、自動落下装置を取りつけ、燃焼室も約千四百度の温度に耐えられるレングラを使用した四重構造になっています。

灰処理の方法も「水封式ピット」で受け、コンベヤーで灰バンカーに貯留して車で搬出する方式であり、煤煙処理、汚水処理には特に公害問題をよく考慮した設備を採用入れるなど、従来のもものと比較し、大幅に改造されたものとなっています。

現在市内には四か所の焼却場がありますが、この地区にも処理能力の低下した従来の焼却炉に代わって、年々増加しつつあるゴミ問題に一役買ってもらえると、地域住民の期待は大きいようです。

簡易生命保険や 各種年金の積立金 はこんな事業に

皆さんが加入している簡易生命保険や郵便年金、国民年金、厚生年金などの積立金は、地元へ還元融資されて、いろいろな事業に役立てられています。日光市も、昭和五十六年度に日光小学校校舎をはじめ、次の事業がこの融資を受けました。

◎簡易生命保険積立金還元融資

- 日光小学校校舎 一億六千二百三十万円
- 日光小学校屋内運動場 四千九百十万円
- 日光小学校給食室 七百九十万円
- 清滝小学校校舎 五千三百九十万円
- 清滝小学校給食室 千四百十万円
- 公営住宅中宮祠団地 二千二十万円
- ◎ 年金積立金還元融資
- 清滝ごみ焼却場 九千四百二十万円
- 日光小学校屋外運動場照明施設 四千三十万円
- 中宮祠公民館 二千八百九十万円